

(様式 2)

2023年 5月1日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

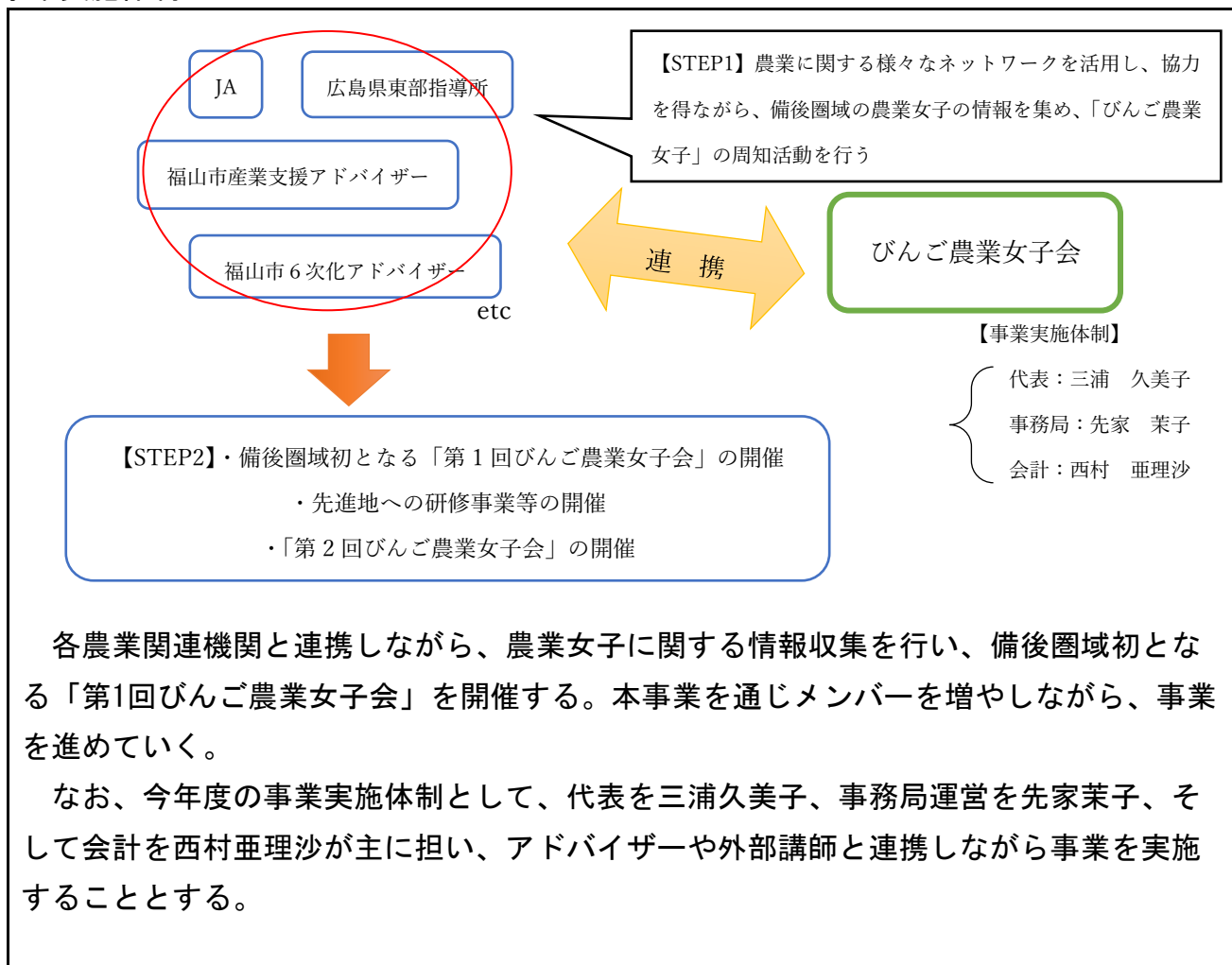
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	
	第4の(2) (グループの新たな取組)	○

1 地域取組主体の概要

名称	びんご農業女子会	
所在地	広島県福山市	
代表者	三浦 久美子	
主な組織の事業内容(注)	<p>「びんご農業女子会」は、福山市箕島町で農業に従事する女性が集まり新たに2023年2月に結成された団体です。名前の由来でもある「びんご」とは、広島県島県東部及び岡山県西部の三原市・尾道市・福山市・府中市・世羅町・神石高原町・笠岡市・井原市の6市2町の備後地域のことを指しています。古くは備後国として一つであった歴史もあり、地域の結びつきが強いのが特徴です。</p> <p>そんな備後圏域には、広島県で有名な農業地帯も含まれるために、農業に従事する女性は一定数いるものの、農業女子に関するグループはなく横の繋がりが薄いのが現状です。そこで私たち「びんご農業女子会」は、点と点でバラバラである農業女子が集い、情報交換や農業に関する活動と一緒にいることができる場を作ることを初年度の目標と掲げ、備後圏域の女性の農業の発展に寄与することを目標とし、「びんご農業女子会」を設立しました。</p>	女性農業者の 人数：5

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

私たち「びんご農業女子会」メンバーが働く農園は、広島県福山市の箕島町にあります。箕島町に新規担い手として新たに農業に参入する方は近年現れていない一方で、地元農家の高齢化は進み、年齢とともに農業を辞めていく農家さんも増えている現状です。女性に関しては、箕島町の農業委員や組合のメンバーには男性しかおらず、女性の所属はゼロに等しいです。若手の農業女子グループは備後圏域に存在しておらず、農家として働く中で困ったことを気軽に相談することができる横の繋がりも薄く、女性農家として活躍することができる場所が限られています。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

廃棄野菜を活用した6次化・商品開発への取り組み、学校や幼稚園と連携した農業体験、子育て世代を対象とした農業イベント開催等、個人では取り組むことができなかった活動がグループとなることで、女性農業者の得意を活かした取り組みが可能となります。しかしながら現状では、備後圏域において女性農業グループはなく、女性が提案し活躍することができる場所が限られています。

また、備後圏域で農業に従事する女性の情報がないため、困ったときに相談し、助け合いながら解決することができていません。そのため、すでに農業に携わっている農業女子が繋がり、そして農業に興味があり新たに農業を始めたい女性たちの情報窓口となるグループを立ち上げ、農業に関わる女性が増えていく仕組みづくりを行う必要性があります。

(注) (2)、(3)の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

確保する施設等の区分		①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者(注2) の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事のものとする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。(3)において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する女性農業者の人数	事業費 (千円)	国庫補助金	備考
③	R5. 6 ~7	備後農業女子についての情報収集	複数回	5名	96千円	96千円	・各関連機関及び新規農業女子メンバーとの連携に係る交通費：¥20,023 ・事業実施にあたる補助、専門知識の提供、資料収集に関する謝礼代：¥33,000(6月), ¥33,000(7月), ¥22,000(8月)
④	R5. 8	「第1回びんご農業女子会」の開催	1回	目標 15名	94千円	94千円	・第1回セミナーチラシデザイン費：¥13,200 ・第1回セミナーチラシ印刷代：¥3,300 ・第1回セミナーお茶・お弁当代：¥24,750 ・第1回セミナー講師謝金：¥11,000 ・第1回セミナー消耗品：¥20,172 ・事業実施にあたる補助、専門知識の提供、資料収集に関する謝礼代：¥22,000(9月)
②	R5. 10	先進地視察として愛媛県への視察研修を実施	1回	目標 15名	167千円	167千円	・愛媛農業女子視察交通費：¥120,890 ・視察研修にかかるお茶・お弁当代：¥24,750 ・事業実施にあたる補助、専門知識の提供、資料収集に関する謝礼代：¥22,000(10月)
④	R5. 12	「第1回びんご農業女子会」及び先進地視察を通し学んだこと、今後びんご農業女子会で取り組みたいこと等について話し合う「第2回びんご農業女子会」を開催	1回	目標 15名	122千円	122千円	・第2回セミナーチラシデザイン費：¥13,200 ・第2回セミナーチラシ印刷代：¥3,300 ・第2回セミナーお茶・お弁当代：¥24,750 ・第2回セミナー講師謝金：¥11,000 ・第2回セミナー消耗品：¥4,715 ・事業実施にあたる補助、専門知識の提供、資料収集に関する謝礼代：¥22,000(11月), ¥22,000(12月), ¥22,000(1月)
							事業実施にあたる補助、専門知識の提供、資料収集に関する謝礼代：
計				20名	482千円	482千円	

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開
②先進地視察	備後圏域で初となる農業女子のグループを立ち上げるために、先進的な活動をしている愛媛県の農業女子へ視察に行き意見交換を行う。具体的な取り組み事例を参考とし、継続的なグループ運営の体制を構築することを目標とする。今年度の事業を通じて、びんご農業女子会の主要メンバーが10名になることを目標とし、次年度以降新たに農業を始めたい女性農業者受け入れ体制を構築していく。
③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組	備後圏域で既に農業を営む農業女子の情報収集を行い、備後圏域の初となる「びんご農業女子会」を設立し、主要メンバーを募集する。本事業終了時には、主要メンバーが10名となることを目標とし、「びんご農業女子会」を通じて、びんご地域の農業女子が活躍することができる場を創造する。
④研修会	2回のセミナーを通じ新たに集まったメンバーとともに、「びんご農業女子会」の今後の活動方針を明確にし、次年度以降の活動へ活かしていく。

4 本事業を活用した取組計画 (注)

時期	取組内容・回数	備考
	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>備後地域で農業を営む女性が集まるグループを立ち上げ、農業に興味がある女性を呼び込む活動を行うことができる基盤をつくる必要があり、「びんご農業女子会」を新たに5名で立ち上げました。個人では運用体制や資金面等の課題から始めることができなかつた六次化や有機野菜、マルシェ開催などの活動を、「びんご農業女子会」を通じ実践していき、女性が農業の現場において活躍することができる環境づくりに取り組んでいきます。</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>本事業では、備後圏域初となる農業女子グループを新たに</p>	<p>【目標】</p> <p>点と点になっているびんご農業女子が繋がり、新たに「びんご農業女子会」を立ち上げ、備後地域の農業女子の情報発信、商品開発等を行い、農業に興味がある女性を呼び込む活動を実施する基盤とな</p>

	<p>立ち上げるための活動を実施していきます。点と点となり活動をしている備後地域の農業女子が集まり、2回のセミナーと先進地視察を通じて、「びんご農業女子会」の具体的なグループの方針を確立していきます。</p> <p>「びんご農業女子会」に参加する農業女子それぞれが、主体的に活動を行うことができるグループとなることを目標とし本事業を進めていく方針です。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <p>本事業を通じ、具体的に以下の事業を進めていきます。</p>	る
R5. 6～7	<p>①備後圏域の農業女子の情報収集と広報活動</p> <p>備後地域の農業女子についての情報収集を行い、「第1回びんご農業女子会」開催に向けた準備及び「びんご農業女子会」立ち上げの広報活動を行う。</p>	
R5. 8	<p>②「第1回びんご農業女子会」を開催</p> <p>新たに集まった備後圏域の農業女子メンバーを対象とした「第1回びんご農業女子会」を開催する。農業を通じて「やりたいこと」「困っていること」「農業女子の課題」などを、コミュニティー活動を専門に行なうファシリテーターを外部講師として招待し、セミナーを運営する。</p>	
R5. 10	<p>③先進地域の視察</p> <p>先進地視察として愛媛県の農業女子へ視察研修を行う。</p>	
R5. 12	<p>④「第2回びんご農業女子会」を開催</p> <p>「第1回びんご農業女子会」「先進地視察」を終えた後、再度集まり、今後の「びんご農業女子会」について話し合う「第2回びんご農業女子会」を開催する。第1回の時に呼んだファシリテーターを再度講師として招待する。</p>	

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	5人
	事業実施翌年度	10人
	合計	15人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）		
自営農業就業者 人、雇用就農者 2人、 アルバイト等 8人		

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 （第4の（1）「施設等確保の取組」のみ記載）
【事業実施年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数）
【事業実施翌年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数）

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。